

A5080 営団 半蔵門線 08系 基本 6両セット

予価:29,800円(税別)

JANコード:136935 カートン内入数:12

A5081 営団 半蔵門線 08系 増結 4両セット

予価:18,200円(税別)

JANコード:136942 カートン内入数:12

A5082 東京メトロ 半蔵門線 08系 基本 6両セット

予価:29,800円(税別)

JANコード:136959 カートン内入数:12

A5083 東京メトロ 半蔵門線 08系 増結 4両セット

予価:18,200円(税別)

JANコード:136966 カートン内入数:12

商品形態	Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 ブックケース入り)
実車	2003(平成15)年に営団地下鉄(現:東京メトロ)半蔵門線の水天宮前～押上間延伸開業に際して登場したのが08系です。営団地下鉄としては最後の新形式として登場しました。車体の基本構造は他の0系シリーズ同様のアルミ押出型材を多用した軽量車体で、腰部にラインカラーの紫とアクセントのピンク・ホワイトの帯が入れています。前面は東西線用05N系をベースにした天地方向に二次元曲面を二つ組み合わせさせた基本形状と、八角形をイメージして識別帯と前面窓、灯具をデザインしたスタイリッシュなものが採用されました。乗り入れ先の高速運転に対応するために主電動機出力の向上とMT比の増加が行われ、営団地下鉄では初めて120km/h運転に対応した性能を持つほか、営団地下鉄では初めてシングルアームパンタグラフが採用されたことも特徴のひとつです。10両編成6本が製造され、現在も半蔵門線のエースとして乗り入れ先の東武線、東急線を含めた広範囲で活躍を続けています。 2004(平成16)年4月1日の東京メトロ発足に伴い、営団地下鉄の「Sマーク」の代わりにシンボルマークの掲出が行われました。2013(平成25)年頃から前面窓に掲出されていたマークが順次撤去されています。
商品概要	・マイクロエース私鉄電車シリーズの更なる充実 ・ヘッドライト、テールライト、前面表示器点灯。LED使用 ・フライホイール付動力ユニット搭載

アルミボディに紫+白の帯。営団時代

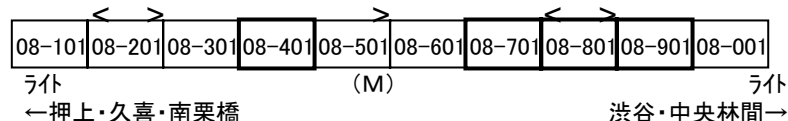
・登場当初のSマークが掲出された姿



編成図

A5080 A5081

東京地下鉄株式会社商品化許諾申請中



ライト (M) ライト
←押上・久喜・南栗橋 渋谷・中央林間→

アルミボディに紫+白の帯。現行仕様

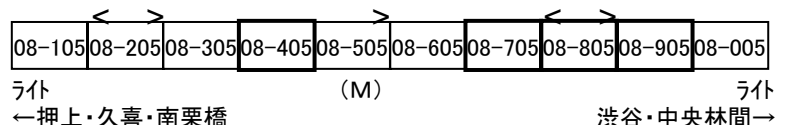
・前面窓のマークが省略された後の姿



編成図

A5082 A5083

東京地下鉄株式会社商品化許諾申請中



ライト (M) ライト
←押上・久喜・南栗橋 渋谷・中央林間→

オプション 幅広室内灯:G0001/G0002/G0003/G0004, マイクロカプラー自連・灰:F0004

付属品 行先シール